

株式会社しらゆりケア

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年9月18日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社しらゆりケア（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社しらゆりケアの企業概要	1
(2) 株式会社しらゆりケアの事業概要	3
(3) 経営理念	9
(4) サステナビリティ.....	12
2. インパクトの特定	14
(1) バリューチェーン分析.....	14
(2) インパクトマッピング	14
(3) インパクトレーダーによるマッピング	15
(4) 特定したインパクト.....	17
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	20
3. インパクトの評価	23
4. モニタリング.....	27
(1) 株式会社しらゆりケアにおけるインパクトの管理体制.....	27
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	27

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社しらゆりケアの企業概要

企業名	株式会社しらゆりケア
創業	2014年11月19日
設立	2014年11月19日
代表者名	浜中 俊哉
資本金	1,310万円
従業員	189名（2026年8月時点）
売上高	1,085百万円（2025年10月期）
事業拠点	本社 四日市市日永西 2-9-11 名古屋営業所 名古屋市西区牛島町 6 番 1 号 名古屋ルーセントタワー40 階
事業内容	ナーシングホーム、訪問看護ステーション、訪問介護、生活支援サービス、居宅介護支援事業所、神経リハビリセンター、障がい者グループホーム、訪問看護経営コンサルティング、高齢者向け住宅給食事業、看護小規模多機能型居宅介護
関連会社	株式会社 PlanB Holdings（グループ全体の管理） 株式会社 FRECO（高齢者施設委託給食事業）



<沿革>

2014年2月	みえぎんビジネスプランコンテスト「準グランプリ」受賞
2014年11月	株式会社 PlanB 創業
2015年5月	訪問看護 ステーションしらゆりケア 開設
2016年8月	訪問介護 しらゆりケア 開設
2017年7月	居宅介護支援事業所 しらゆりケア 開設
2018年11月	ナーシングホーム しらゆりケア 開設
2020年8月	ナーシングホーム しらゆりケア komorebi 開設
2020年10月	第一回ひながシルバー食堂&まちの保健室 開催
2021年3月	四日市市より「男女がいきいきと働き続けられる企業 奨励賞」を受賞
2022年1月	三重県より「三重のおもてなし経営企業選」を受賞 神経リハビリセンター しらゆりケア 開設
2022年2月	障がい者グループホーム しらゆりケアこゆり西日野 開設
2022年5月	訪問看護ステーション しらゆりケア四日市北 開設
2022年6月	障がい者グループホーム しらゆりケアこゆり七つ屋 開設
2022年10月	障がい者グループホーム しらゆりケアこゆり智積 開設
2024年3月	ナーシングホーム しらゆりケア seseragi 開設
2024年11月	障がい者グループホーム しらゆりケア こゆり前田町 開設
2024年12月	ナーシングホーム しらゆりケア桑名能部 開設
2025年5月	しらゆりケア 10周年
2025年11月	株式会社しらゆりケアへ社名変更
2026年3月	障がい者グループホーム しらゆりケアこゆり稲葉町 開設 看護小規模多機能型居宅介護 しらゆりケア 開設
2026年8月	株式会社 PlanB Holdings を設立し持株会社体制に移行

(2) 株式会社しらゆりケアの事業概要

同社では、ナーシングホームをはじめ、訪問看護ステーション、訪問介護、神経リハビリセンター、障がい者グループホーム、看護小規模多機能型居宅介護など、多彩な施設を運営。各分野の専門職が協働し、地域に根ざした安心のケア体制で、顧客の暮らしを支えている。

【事業内容】

- ナーシングホーム（高齢者向け住宅）

訪問看護・リハビリによる看護サービスと、訪問介護による生活支援、介護支援専門員による連携支援を組み合わせ、医療ニーズの高い方が安心して過ごすことができる住まいを目指している。

24 時間スタッフが常駐し、全ナーシングホームに見守りシステムを完備。また、食事にもこだわり、栄養バランスや食べやすさに配慮することで、病院と同等の安心感のもと、自宅のようにくつろげる環境を整えている。

「同社が掲げるナーシングホームの定義」

近年、「ナーシングホーム」という名称の高齢者向け住宅が増えてきています。大半が住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅です。日本においてはナーシングホームの明確な基準はありません。私たちしらゆりケアが掲げるナーシングホームは訪問看護・リハビリによるサービスと訪問介護によるサービス、介護支援専門員による迅速な支援の協働により医療ニーズが高い方に安心安全にお過ごしいただくことをコンセプトとしております。

施設内に 24 時間看護師が常駐していることはもちろん訪問看護で今まで培ってきた在宅看護の技術を活かしています。実は施設に看護師がいるだけでは急変時の医療行為はできません。主治医からの指示を受けている訪問看護の看護師のみが医療行為を行うことができるのです。

しらゆりケアでは常に主治医と 24 時間体制で連携しており、指示を頂くことで急変時にもすぐに対応しております。常時 10 以上の医療機関の往診医と連携しており、必要であれば医師もすぐに駆けつける体制を取っております。平成 29 年より株式会社の訪問看護ステーションでは初めて三重県立総合医療センターと医療機関連携を結んでおり、緊急時も安心です。

<しらゆりケア>



- ・ 訪問看護ステーション

看護師などの専門スタッフが自宅を訪問し、医師の指示に基づいて医療的なケアや療養支援を行う。病状の観察や服薬管理、処置やリハビリ、日常生活のサポートなどを通じて、安心して自宅で過ごせるよう手伝っている。経験豊富なスタッフが 24 時間体制で対応し、体調の変化にも迅速に対応できる安心の支援体制を整えている。「訪問看護をどう利用すればいいかわからない」といった相談にも、丁寧に答えている。

- ・ 訪問介護

買い物や調理、掃除などの日常生活の支援から、身体の状態に合わせた食事や入浴の介助まで、幅広いサポートを行っている。資格を持った介護福祉士やホームヘルパーが自宅を訪問し、安心して快適に過ごすことができるよう丁寧に対応している。利用者と家族の気持ちに寄り添いながら、安心の在宅生活をサポートしている。

- ・ 生活支援サービス

介護保険や医療保険ではまかないきれないサービスを、自費で利用いただけるサポート。掃除・洗濯・調理・買い物代行などの「生活援助」をはじめ、排泄介助(おむつ交換)や食事介助といった「身体介護」、外出や通院の付き添い、長時間の見守りなど、幅広い内容に対応している。すべてのサービスに有資格者が対応するため、安心して利用することができる。利用者や家族の要望に合わせて、きめ細やかな支援を行っている。

- ・ 居宅介護支援事業所

しらゆりケアに併設された居宅介護支援事業所で、介護の知識を幅広く持った専門家、ケアマネージャーが希望に沿ったケアプランの作成の手伝いをしている。なお、ケアプラン作成にかかる料金については、全額を介護保険が負担するため、利用者に料金の負担は発生しない。

- ・ 神経リハビリセンター

脳や神経に関わる疾患や障がいを持つ方を対象に、専門的なリハビリを行う施設。療法士がそれぞれの専門性から利用者に合ったリハビリプログラムを提案している。保険下では 30～40 分程度で区切られることが多いが、自費リハビリのため 60 分から最大 120 分のリハビリを受けることができる。



- 障がい者グループホーム

地域の一員として安心して暮らし、自立を目指す方を支援。世話人、サービス管理責任者、訪問看護師が連携し、日々の生活を専門知識と技術で支える。利用者一人ひとりの豊かな生活に寄り添い、ともに考えながら、その方らしい暮らしを大切にしている。医療機関や提携薬局との連携も充実しており、安心して暮らせる環境を整えている。利用者や家族の希望に合わせて、きめ細やかな支援を行っている。



- 看護小規模多機能型居宅介護

看護と介護をひとつにまとめた、安心のケアサービス。自宅での暮らしを大切にしながら、必要に応じて「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」など、いろいろな形でサポートを受けることができる。医療と介護が連携しているので、持病がある方や医療的なケアが必要な方も、安心して利用可能。その人らしい暮らしを支える柔軟なサービス。

- コンサル事業

訪問看護ステーションの需要は年々高まっているが、マネジメントや運営には専門的な知識と経験が求められる。同社では、実際にゼロから訪問看護を立ち上げた経営者が中心となり、開業支援から運営ノウハウの提供、黒字化までの伴走支援を行う「訪問看護独立開業経営コンサルティング」を展開している。

<実績>

2025年現在、全国43社の訪問看護立上げコンサルティングを実施し、全社が1年以内（最短4カ月）で単月黒字化を達成している。

- 訪問看護ステーション
鹿児島県／開業 2018年、最短4か月で単月黒字化
- 訪問看護ステーション + ナーシングホーム
愛知県／開業 2019年、7か月で単月黒字化、現在ナーシングホーム3棟運営
- 訪問看護ステーション + 障がい者グループホーム
大阪府／開業 2021年、利用者数拡大

【同社の強み】

- 24 時間看護体制と地域医療の受け皿機能
訪問看護で培った年間約 80 件の看取り実績をもとに、三重県北勢地区で初めて往診医・基幹病院と密に連携する 24 時間体制を確立。他施設では受け入れ困難な医療依存度の高い利用者を積極的に受け入れ、病院の退院調整室からの紹介の受け皿としても機能している。
- 多職種連携による「介護の総合病院」機能
看護師・介護士に加え、PT・OT・ST（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）やケアマネージャーが在籍し、医療依存度の高い人からリハビリが必要な人まで、チームとして専門的かつ多角的なケアを提供している。
- 医療・介護をワンストップで提供
訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、ナーシングホーム、リハビリ、障がい福祉など複数サービスを運営しており、利用者の状態変化に応じてサービス内容を切り替えやすく、人生のステージに合わせた継続支援が可能。
- 医・食・住へのこだわりとホスピタリティ
関連会社である株式会社 FRECO による完全自社調理・地産地消の食事、飛騨家具などを用いた自宅のような住環境、そして「オーダーメイド」システムによる利用者一人ひとりの希望の実現。平均入居率は全国平均を大きく上回る水準で推移している。
- DX とデータ経営
AI マネジメントによる最適な人員配置、余力計算・人時生産性といった独自指標による客観的な業務分析、社内ツール DIRECT や SmartHR の活用により、感毒論を排した効率的な組織運営を実現している。
- リファラル採用とホスピタリティ文化
ピアボーナス制度(※)や性格診断の活用により、理念・バリューに共感する人材を採用・育成している。友人紹介によるリファラル採用比率が業界平均を上回り、離職率の低下にもつながっている。
※賞賛や承認とともに従業員同士で少額の報酬を送り合う仕組みのこと。ポイント制賞与制度とも呼ばれ、今までの給与制度にはなかった新しい仕組み。
- 最新の見守りシステム導入
全室個室で見守りシステムを完備し、安全性とプライバシーの両立を図っている。
- 地域密着型の総合ケア企業
四日市・桑名エリアを中心に看護・介護・障がい福祉サービスを幅広く展開し、「住み慣れた地域で暮らし続ける」ことを支援している。

【今後の展開】

「介護保険だけに頼らない、新しい介護事業」を実現するため、以下の6つの柱を強みとする、唯一無二の企業となることを目指している。

- TPM 上場による経営基盤の強化

2029年の「TOKYO PRO Market」上場を目指し、単なる資金調達に留まらない、厳格な内部統制・ガバナンスに基づく永続的な企業基盤を構築する。外部 CFO との週次財務会議を通じて、2026年3月より財務体制の整備を着実に進めている。

- ホールディングス化による経営効率の最大化

2026年8月、持ち株会社体制（株式会社 PlanB Holdings）に移行した。バックオフィス機能の集約によりグローバル展開への対応、幹部社員のキャリアパス拡充を進める。

- ドミナント展開（ノブナガ計画）

テナント方式による初期投資の抑制と、既存の訪問看護エリア内への集中出店により、迅速な事業展開と拠点間の人材サポート体制を構築。ナースিংホームの拠点拡大を図る。尾張の国を統一し天下統一を目指した織田信長になぞらえ、東海エリア（東名阪自動車道沿線）で居室数業界 NO.1 を目指す。

- サービスラインナップの複合化

2026年3月、看護小規模多機能型居宅介護（看多機）を開業。在宅と入居の中間に位置するサービスを提供することで、従来対応が難しかった低所得者や生活保護受給者にもサービスを届けている。

- 医・食・住とホスピタリティの徹底追求

24時間看護・見守りシステムによる「医」、FRECO による「食」、木製家具を用いた住環境による「住」の三位一体で、「自分らしさを叶える場所になる」というブランド価値を具現化する。

- ベトナムを起点としたグローバル展開

ベトナムは2026年以降、高齢化社会（65歳以上人口比率10%超）に入ると見込まれており、2039年には15%、2050年には25%に達するとの予測もある。出生率の低下と核家族化が進む一方、介護施設・介護人材ともに未成熟であり、高齢者支援サービスに対する需要は今後拡大が見込まれる。親日国ベトナムを海外展開の拠点とし、ホーチミン市において「日本式介護コンサルティング×人材育成・送出連携×合併老人ホーム運営」を核とした三段階の事業を計画している。

＜事業スキーム＞

フェーズ	内容
フェーズ 1	日本式老人ホームコンサルティング業の現地法人設立（ホーチミン市）
フェーズ 2	送出機関との連携による介護人材育成、日本語学校の設立
フェーズ 3	現地パートナーとの合併会社設立・老人ホーム運営（日本式リハビリデイサービスを入口に、ショートステイ経由で入居へつなげる段階的モデル）

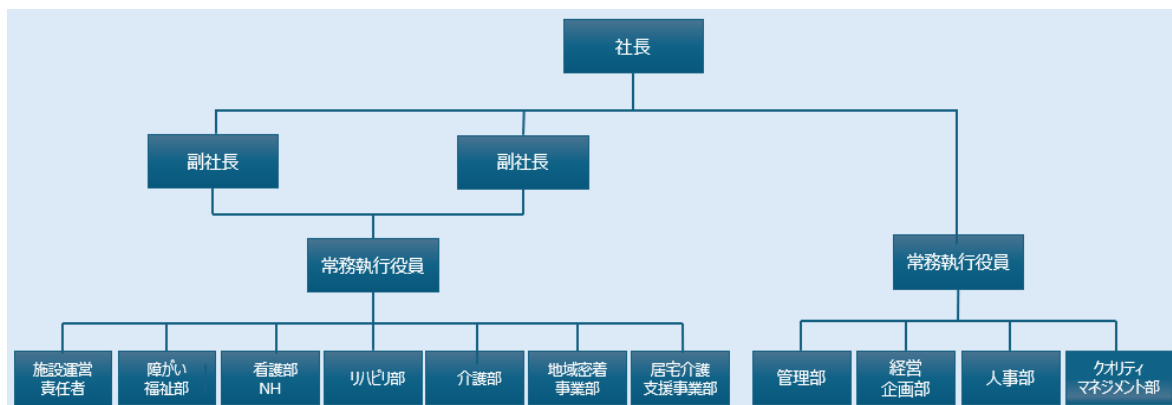
この 3 フェーズは同時並行ではなく、フェーズ 1 の法人基盤の上にフェーズ 2 の人材パイプラインを構築し、フェーズ 2 で育成した人材・ノウハウ・現地ネットワークをフェーズ 3 の合併施設運営に接続する、という積み上げ構造になっている。

＜サービス戦略＞

ベトナムでは儒教的価値観に基づく親孝行の規範が根強く、高齢者を家族が世話することが社会的なスタンダードとされている。この文化的制約を踏まえ、同社は「治療・機能回復」という受け入れられやすい切り口を起点に、段階的に施設利用への抵抗感を下げていくファネル設計を採用する。

ステージ	サービス内容
①リハビリティサービス	日本式の理学療法・作業療法に基づく通所リハビリ（機能訓練）を提供
②ショートステイ	デイサービス利用者の中から、家族のレスパイト（休息）や冠婚葬祭・旅行等をきっかけに数日から数週間の宿泊利用を提案
③入居	ショートステイの利用実績を経て、正式な入居を提案

【組織体制】



(3) 経営理念

同社は、代表者が義母の在宅介護を自ら経験する中で、「利用者としての困りごと」を解決したい、また、そのためには、社員が誇りを持って働ける環境なくして利用者への最高のサービスは実現できないとの強い思いを持ち、以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

【スローガン】

自分らしさを叶える場所になる



【ミッション】

在宅医療介護の概念を変える

「病院にいる安心感」と「自宅にいるような気楽さ」を両立させる。どのような病気や障がいをお持ちの方でも、安心・安全な生活を届ける。私たちは、在宅サービスと入居サービスを併せ持つワンストップ体制によって、このミッションを実現します。

【ビジョン（理念）】

社会・地域・仲間に愛される企業

～安心と信頼のある“シアワセ”を創り続ける～

【バリュー】

【どのようなご病気や障がいをお持ちの方にも私たちのサービスを通じて安心安全な生活をお届けする】

1. ありがとうを忘れず心に寄り添うケアを
2. 助け合いでつくるチームワーク
3. 失敗から学びいつでも成長モード
4. 笑顔・感謝・ユーモアで毎日をハッピーに
5. 「あってよかった」と思われる存在に

【経営方針】

【社会】 いまを生きる人の“これからの”を実現

【地域】 地域の方の“自分らしく生きる”を実現

【仲間】 働く仲間の“豊かな暮らし”を実現

【行動指針】

【社員一人ひとりの信頼と誇りを力に、皆さまへ安心と安全に満ちた暮らしをお届けする】

1. 人の心を動かす“最高の笑顔”を咲かそう
2. 最善を尽くす“深い思考”を試してみよう
3. 自分事となる“前向きな姿勢”を心がけよう
4. 企業成長となる“素直な言動”を続けよう
5. ご縁が繋がって“思いやり”を届けよう

【代表者メッセージ】

弊社のスローガンである「自分らしさを叶える場所になる」はご利用者さまが自分らしく過ごせるように支援させていただくという意味の他、働くスタッフも会社で自分らしさを叶えられる場所であるという意味もあります。会社はそこで働く誰に対しても平等・公平・公正であり、誰もが輝ける場所であるという私の考えで作ったものです。それぞれの専門性を高め、アイデアを出し、本当に必要とされるサービスを作っていくことが大切です。

人はいずれ老いるものです。そしていつかはどのような形であれ介護が必要になりますが、残念ながら「どうせ介護って、看護って」というマイナスの既成概念があります。それらを私たちのサービスを通じて、私たちのスタッフを通じて少しでも変えていきたいと本気で思っています。

世界は非常に厳しい時代に突入しています。異常気象、戦争、物価高、世界恐慌。そのような中、日本には少子高齢化による労働者不足、国際競争力の低下、物価高騰など更なる問題が発生しています。私たちはこれからどんな時代にも柔軟な発想で困難に立ち向かい、パイオニアスピリットを忘れずに「在宅医療介護の概念を変える」、そのような企業となっていきます。

＜行動指針の実践＞

理念の理解 ⇒ 経営方針の遂行 ⇒ ミッションの達成 ⇒ スローガン「自分らしさを叶える場所になる」の実現という一貫したロードマップのもと、バリュー・行動指針を、以下の取り組みを通じて日常に組み込んでいる。

- 経営理念の唱和
毎日の朝礼（夜勤・日勤引継ぎ）や昼礼で実施
- バリュー・行動指針の理解度調査
評価システム上で3か月に1回実施
- マナー講習
年2回以上、ホスピタリティ向上を目的に実施
- フロアケア体制
フロアごとに専任のフロア長を配置し、個別のオーダーメイド管理を徹底
- オーダーメイドシステム
利用者の希望を月1回聞き取り、全職種で共有
- ご家族版オーダーメイドの導入
ご家族の要望や不安を先回りして把握する仕組みづくり

(4) サステナビリティ

同社は、企業活動を通して、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを行っている。

- 社会的責任と地域貢献

- シルバー食堂・町の保健室
高齢者の孤食問題解決と気軽な相談機会の提供
- しらゆり秋の絵画展
地域住民・学校・利用者の作品展示による交流機会の創出
- 三重県立総合医療センターとの合同勉強会
年4回、在宅移行期のケアに関する情報共有
- 四日市市訪問看護養成講座の受け入れ
年1回、地域の訪問看護人材の育成に貢献
- 一般社団法人全国介護事業者連盟三重県支部長としての業界健全化活動

これらの活動は、単なる社会貢献にとどまらず、地域の生きたニーズを知る貴重な機会でもある。今後は、行政・他企業を巻き込んだ共創モデルへと進化させ、「コスト」ではなく「戦略的な成長への投資」として位置づけ、継続的な仕組みへと発展させていく。

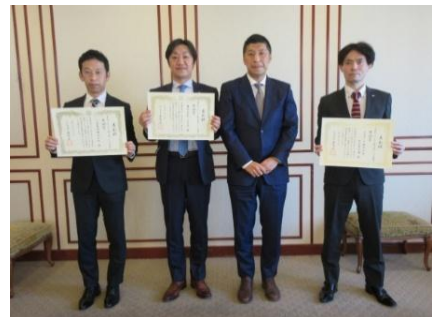
- 三重のおもてなし経営企業選※受賞

※ 三重県が、社員の意欲と能力を最大限に引き出し、地域・社会との関わりを大切にしながら、顧客にとって高付加価値で差別化された製品やサービスを提供している企業を表彰する制度



- 男女がいきいきと働き続けられる企業※奨励賞受賞

※ 四日市市が、「安心して子どもを産み、育てられるまち」の実現の推進を目的に、男女がいきいきと働き続けることができる環境づくりを推進している企業を表彰する制度



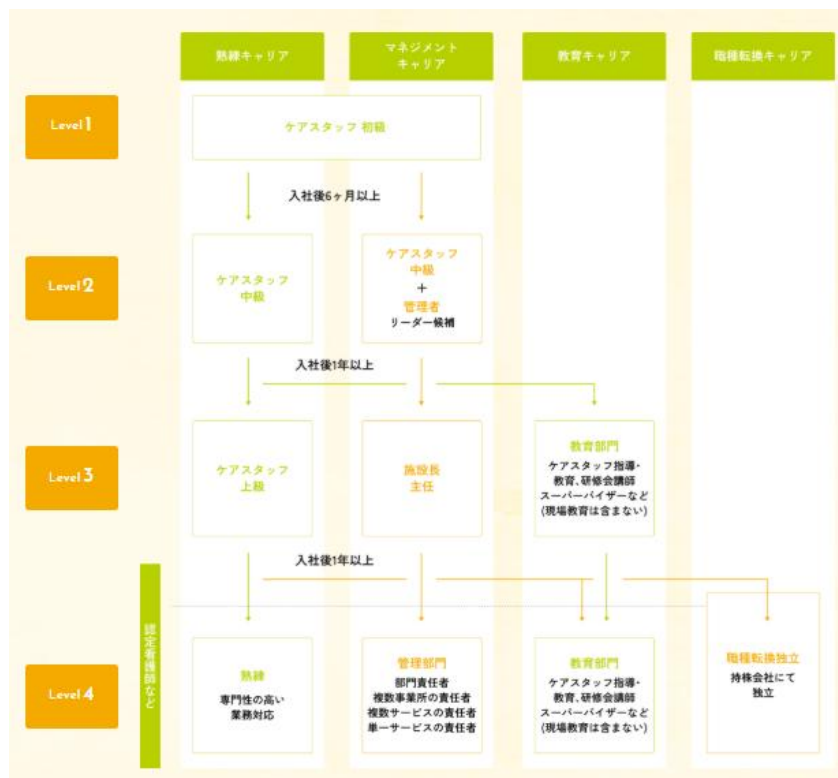
・ スタッフファースト

同社は、「スタッフファースト」を理念の中心に据え、スタッフが誇りを持てる環境づくりに取り組んでいる。

- ランチビュッフェが無料。
- ナーシングホームの夜勤スタッフに夜食を支給。
- ドリンク（コーヒー・お茶）が無料。また、社内設置の自動販売機は社割価格。
- 産休・育休後、職場復帰できる環境を整えている。一時預かりだが、子どもが遊べるスペースを社内
に用意している。介護休暇においては、自社サービスを活用することもできる。また、それぞれ今までに
取得、使用実績が多くあり。
- 社内に酸素ルームがあり、疲れた時、肩こり、夜勤明けなどに利用しリフレッシュすることができる。
- 社内資格支援制度（規定あり）があり、必要な資格取得に対して会社が全額負担をしている。
- 法定通りの有給休暇以外に全社員に1年に1日「孝行休暇」が付与される。
- 安全衛生委員会、研修委員会、CSR・レクリエーション委員会、人づくり委員会、IT 委員会それぞれに
委員長があり、独自の活動を行うことで社内の運営を円滑に行うことができる。
- 社員紹介制度（従業員が友人や知り合いを会社で紹介して入社すると、3 カ月後に謝礼がでる）あり。
- 社内の研修委員会が主催で外部講師を招いた講習や社内の勉強会、オンラインでの勉強会などを
定期的開催している。
- マニュアルサイトの開設

同社の全スタッフが見ることが出来る社内のクローズドホームページを開設し、仕事に必要な情報
（経営計画、駐車場の場所、社内報、シフト、ヒヤリハット、マニュアルの動画など）が全てアップされて
いる。分からなければここを見たら全解決できるように常に更新している。

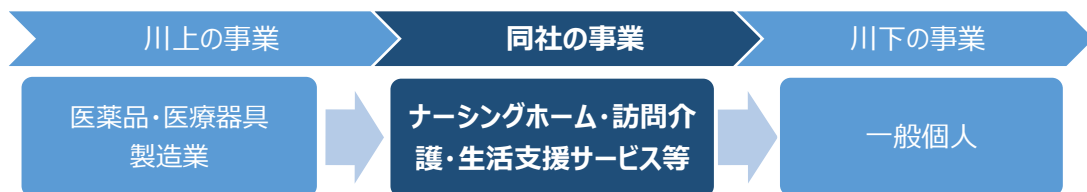
- ロードマップを作成し、それぞれのスタッフのキャリアアップが明確になるようにしている。



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、24 時間看護師が常駐するナーシングホーム、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、生活支援サービスを運営し、医療と介護の両面から利用者一人ひとりに最適なサービスを提供している。
- ナーシングホームでは、「医療と生活の両方に寄り添う住まい」をコンセプトに、全室個室の落ち着いた住環境を整備し、医療依存度の高い方も安心して生活できる体制を構築している。
- 訪問看護ステーションでは、看護師などの専門スタッフが利用者の自宅を訪問し、医師の指示に基づく医療処置や服薬管理、リハビリ、療養支援を実施しています。24 時間対応体制を備え、利用者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続できるよう支援している。
- また、訪問介護事業では、買い物や調理、掃除などの生活援助から、食事や入浴、排泄介助などの身体介護まで幅広く対応し、有資格者による質の高いサービスを提供している。さらに、介護保険や医療保険では対応が難しいニーズに対しても生活支援サービスを通じて柔軟にサポートしている。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「宿泊施設のない高齢者・障がい者向け社会事業（国際標準産業分類：8810）」、「居住介護施設（同：8710）」とする。
- 川上の事業を、「医薬品、薬用化学品及び植物性薬品製造業（同：2100）」、「医療及び歯科用機器・備品製造業（同：3250）」とする。
- 川下の事業は、一般個人であるためインパクトの特定は行わない。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			川上の事業				同社の事業			
業種 (国際標準産業分類コード)			医薬品、薬用化学品及び 植物性薬品製造業 (2100)		医療及び 歯科用機器・備品製造業 (3250)		宿泊施設のない高齢者・障がい者向け 社会事業 (8810)		居住介護施設 (8710)	
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	人格と人の安全保障	紛争								
		現代の奴隷制度								
		児童労働								
		データのプライバシー								
		自然災害								
	健康と安全	健康と安全	●●	●		●	●	●	●	●
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	水								
		食糧								
		エネルギー								
		住居							●	
		健康と衛生	●●		●●		●		●	●
		教育								
		移動手段								
		情報								
		コネクティビティ								
		文化と伝統								
		ファイナンス								
	生活	雇用	●		●		●		●	
		賃金	●	●●	●	●●	●	●	●	●
		社会的保護		●		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等						●●		●●
		民族/人種の平等								
		年齢差別								
		その他の社会的弱者						●●		●●
社会経済	強力な制度、平和、安定	法の支配								
		市民的自由								
	健全な経済	セクターの多様性								
		零細・中小企業の繁栄			●					
	インフラ	インフラ								
	経済収束	経済収束								
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		●		●				
	生物多様性と健全な生態系	水域		●●		●				
		大気		●●		●				
		土壌		●●						
		生物種		●						
		生息地		●						
	サーキュラリティ	資源強度		●●		●●				
		廃棄物		●●		●		●		●

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上・同社の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。

	大分類	インパクトエリア	インパクト	インパクト		取組内容	対応するSDGs
				PI	NI		
同社	社会	健康と安全	健康と安全	○	○	高齢者や療養者が住み慣れた地域で安心・安全に生活できる環境を提供している。24時間体制による迅速な対応や専門スタッフによる医療・介護支援により、健康維持や重症化予防に貢献するとともに、利用者や家族の負担軽減、生活の質の向上を実現している。今後は、高齢化が見込まれるベトナムでの介護事業の展開を目指している。従業員には残業削減など働きやすい環境を整備し、健康経営優良法人認定取得の検討を進めている。	3.8 8.8
		資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	住居	○		利用者が住み慣れた自宅で安心して暮らし続けられる環境づくりに貢献している。医療・介護の専門スタッフによる継続的な支援や見守り、生活援助を通じて在宅生活の維持を支援し、施設入所の抑制や地域包括ケアの推進、利用者の自立した暮らしの実現に寄与している。	11.1
			健康と衛生	○		利用者の健康維持と衛生的な生活環境の確保に貢献している。栄養バランスに配慮した食事支援や有資格者による身体介護、生活援助により心身の健康を支えるほか、専門療法士によるリハビリ提供により身体機能の維持・向上を促進し、利用者のQOL向上と重症化予防に寄与している。	3.8 11.1
		生活	雇用	○		理念やバリューに共感する人材の採用・育成、SNS等を活用した介護職の魅力発信、処遇改善や企業型確定拠出年金制度の導入により、質の高い雇用創出と人材確保に貢献している。また、キャリアアップ支援や資格取得支援、継続的な研修機会の提供により、従業員の成長と定着を促進し、地域介護を支える持続可能な雇用基盤の構築に寄与している。	8.5 8.6
		平等と正義	ジェンダー平等	○		女性が多数活躍する職場として、管理職登用の機会を提供するとともに、産休・育休後の復職支援や育児・介護との両立を支える職場環境を整備している。「えるぼし」認定取得や女性管理職の増員に取り組んでいく方針である。	5.5 8.6 8.8
			その他の社会的弱者	○		特定技能人材に対する日本語学習支援や介護福祉士資格取得支援、専門通訳の配置により、外国人材が安心して能力を発揮し成長できる就労環境を整備している。また、外国人材を積極的に採用することで多様な人材の活躍を促進し、人手不足が課題となる介護業界の持続的な人材確保と、多文化共生社会の実現に貢献している。	8.6 8.8
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	本社屋根への太陽光発電設備の設置等により、事業活動に伴う温室効果ガス排出の削減に取り組んでいる。また、従業員への省エネルギー意識の啓発や、営業車・送迎車のHV・EVへの切替を推進していく方針である。	13.2
		サーキュラリティ	廃棄物		○	DX推進により、紙使用量削減に取り組んでいく方針である。	12.5

※「ジェンダー平等」、「その他の社会的弱者」のPI、「気候の安定性」のNIは、インパクトレーダーでは発現しなかったが、同社の取組を踏まえ、個別に追加した。
 ※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いと判断し、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営の推進

- 同社は、介護・看護サービスの提供を通じて地域社会を支えるとともに、環境負荷の低減に配慮した経営を推進している。
- 本社屋根への太陽光発電設備の設置により、事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。また、従業員に対する省エネルギー意識の啓発を継続的に実施するとともに、営業車や送迎車をHVやEVへ順次切り替えることで、CO₂排出量の削減を推進していく方針である。
- また、AI マネジメントによる客観的な業務分析や、デジタルツールを活用したDX経営を推進し、業務効率化とペーパーレス化を実現していく方針である。
- このインパクトは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

社会（Social）

在宅医療介護を通じた高齢者・障がい者およびその家族が安心して暮らせる社会の構築

- 同社は、訪問介護を中核として、訪問看護、居宅介護支援、ナースিংホーム（入居サービス）、障がい福祉事業を一体的に提供し、高齢者や障がい者、その家族が安心して暮らせる社会の実現に取り組んでいる。在宅サービスから入居サービスまでを一気通貫で提供することで、利用者の状態変化や多様なニーズに柔軟に対応し、切れ目のない支援体制を構築している。また、既存の訪問看護エリア内への集中出店を進めることで、地域における迅速なサービス展開と拠点間の人材連携を実現し、安定的かつ質の高い医療・介護サービスの提供につなげている。さらに、看護小規模多機能型居宅介護（看多機）の開業により、これまで十分な支援が届きにくかった低所得者や生活保護受給者へのサービス提供を拡充し、誰もが必要なケアを受けられる地域包括ケアの推進に貢献している。
- 将来的に高齢化が見込まれるベトナムにおいて、日本式介護のノウハウを活用した介護コンサルティング、人材育成、ナースিংホーム事業の展開を目指し、国際的な介護課題の解決にも取り組んでいく方針である。
- このインパクトは「健康と安全」、「住居」、「健康と衛生」、のカテゴリに該当し、社会面のPIを拡大すると考えられる。

- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 3.8：全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
 - 11.1：2030 年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

ワーク・ライフ・バランスの推進および働きやすい職場環境の整備

- 同社は、従業員一人ひとりが働きがいを持ちながら長期的に活躍できる職場づくりを推進している。
- ピアボーナス制度や性格診断を活用し、企業理念やバリューに共感する人材の採用・育成を行うとともに、SNS や YouTube を通じて介護現場の魅力や実際の働き方を発信し、リファラル採用の強化を図っている。また、賃金水準の向上や企業型確定拠出年金制度の導入など、従業員の生活基盤を支える福利厚生 の充実にも取り組んでいる。今後は、毎年一定数以上の新規採用を継続し、人材確保と組織基盤の強化を進めていく方針である。
- ダイバーシティに関しては、女性が全従業員の約 8 割を占める職場として、希望に応じて管理職を目指す人事制度を整備するとともに、産休・育休後の復職支援や育児との両立を可能とする勤務環境の充実を図っている。今後は「えるぼし」認定を取得・継続するとともに、女性管理職を 5 名以上登用し、ジェンダー平等の実現をさらに推進していく方針である。また、特定技能人材を対象とした週 1 回の日本語学習支援、介護福祉士資格取得支援、専門通訳の配置などを通じて、外国人材が安心して働き続けられる環境を整備し、外国人材の採用強化により、人材不足の解消とサービス品質の向上を図っていく方針である。
- このインパクトは「雇用」、「ジェンダー平等」、「その他の社会的弱者」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 5.5：政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
 - 8.5：2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
 - 8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
 - 8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治（Governance）

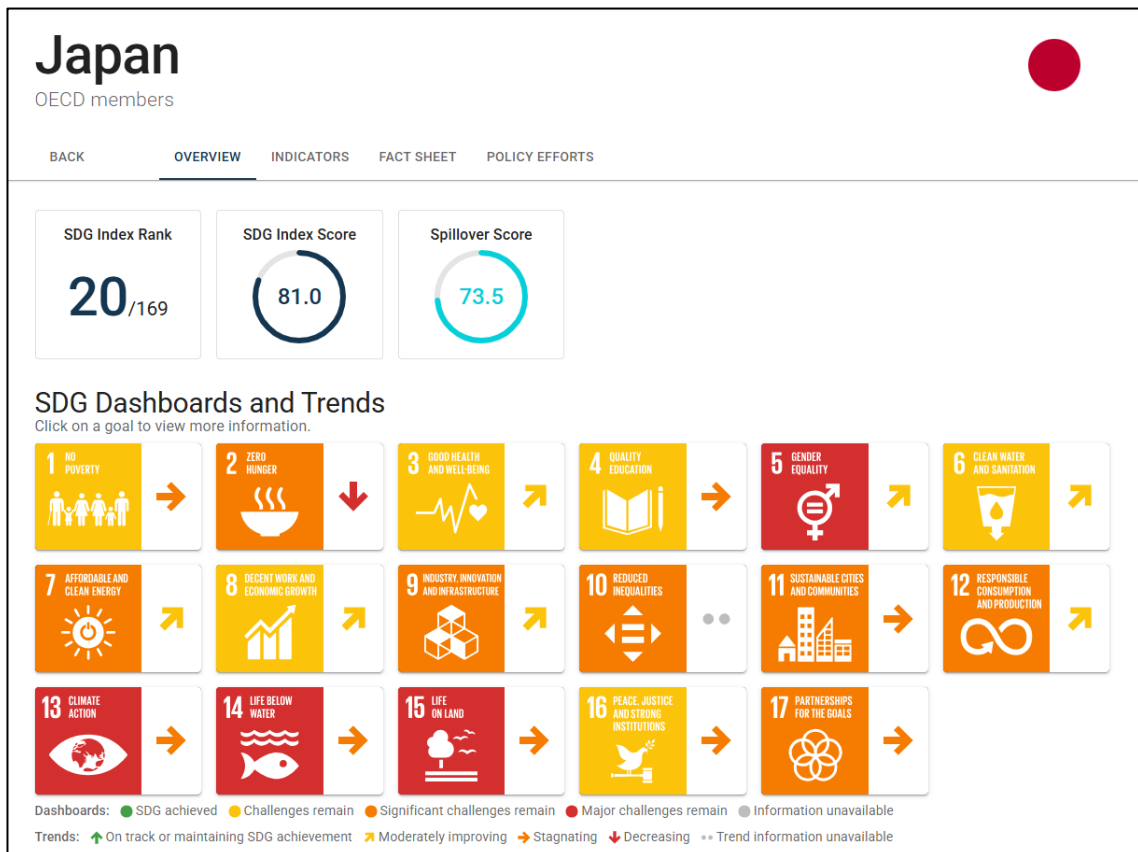
安全な職場環境の整備

- 同社は、従業員が安心して働き続けられる職場環境の整備に取り組んでいる。健康経営を推進し、従業員の心身の健康維持・増進を図ることで、安全で働きやすい職場づくりを進めている。
- また、全スタッフが閲覧できる社内マニュアルサイトを開設し、経営計画やシフト、ヒヤリハット事例、各種マニュアル動画など業務に必要な情報を一元管理している。必要な情報を迅速に確認できる環境を整備することで、業務品質の向上や事故・ミスの未然防止につなげている。
- 今後は健康経営優良法人認定の取得を目指すとともに、認定取得後も継続的な健康経営と安全管理体制の強化に取り組んでいく方針である。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス & ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する」、「11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」、に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「5, 13」において大きな課題が残る、「3, 8, 11, 12」において課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 海外におけるインパクトニーズ

- 同社は、今後ベトナムでの介護事業の展開を目指しているため、ベトナムでのインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 特定したインパクトに対する SDGs のゴールが、ベトナムにおいても重要度が高いことが確認できる。



③ 三重県におけるインパクトニーズ

- 三重県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、三重県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

三重県 SDGs 未来都市計画 –SDGs の推進に資する取組（抜粋）–
○Society 5.0 時代の産業創出、次世代ものづくり産業の振興 県内中小企業・小規模企業が抱えている人手不足解消・生産性向上といった社会的課題に対応するため、県内ものづくり企業と連携を図りつつ、高度 3 次元加工機器に関する研究会を通じて、今後必要とされる高度ものづくり技術者の育成を支援し、県内ものづくり企業の生産性向上並びに事業拡大、新規雇用の創出、職場への定着を促進するとともに、航空宇宙産業及び次世代自動車関連産業における技術者の育成や付加価値の向上を図る。 ○多様な主体とのパートナーシップ 環境と経済が両立する持続可能な循環型社会の構築に向けて、県内事業者の自主的な環境経営の取組を促進し、温室効果ガスの排出削減を図る。

④ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の 6 つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
在宅医療介護を通じた高齢者・障がい者およびその家族が安心して暮らせる社会の構築	地域経済の持続的成長
ワーク・ライフ・バランスの推進および働きやすい職場環境の整備 安全な職場環境の整備	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

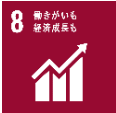
環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「廃棄物」「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・取り組み済みの本社屋での太陽光発電の使用に加えて、日常より社員への省エネに関する意識啓蒙の実施や営業車および送迎車などの社用車を HV や EV 等へ切り替えることで、さらなる CO₂削減を推進する ・AI マネジメントによる客観的な業務分析やシステムによる効率化通じてペーパーレス化を推進する
KPI	・2030/10 期までに社用車を追加で 13 台 EV・HV へ切り替える (2026 年 7 月時点：EV・HV 数 4 台/全営業車両数 48 台) ・2030/10 期までに紙の使用量を 2025/10 期対比 50%削減する (2025/10 期実績:180,000 枚)

在宅医療介護を通じた高齢者・障がい者およびその家族が安心して暮らせる社会の構築

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康と安全」「住居」「健康と衛生」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・訪問介護を中核として、訪問介護・居宅介護支援・ナースিংホーム（入居サービス）・障がい福祉事業を組み合わせた複合的サービス提供体制により在宅から入居まで一気通貫でサービスを提供し、介護が必要な全ての人が安心して生活できる社会づくりに貢献する ・既存の訪問看護エリア内への集中出店により、迅速な事業展開と拠点間の人材サポート体制を構築する ・看護小規模多機能型居宅介護（看多機）の開業に伴い、従来対応が難しかった低所得者や生活保護受給者の方にもサービスを提供する ・近い将来に急速な高齢化が見込まれるベトナムに日本式介護コンサルティングと人材育成および合併型老人ホーム事業を展開する
KPI	・2029/10 期までに売上高 28 億円以上を目指す (2025/10 期実績：10.8 億円) ・2029/10 期までにナースিংホーム棟数を 12 棟以上に増やす (2026/8 月時点：4 棟) ・2029/10 期までにベトナム・ホーチミンでの日本式ナースিংホームを開業する ※各項、以降の目標は再設定する

ワーク・ライフ・バランスの推進および安全で働きやすい職場環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」「ジェンダー平等」「健康と安全」「その他の社会的弱者」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・ピアボーナス制度や性格診断を活用し、会社の理念やバリューに共感できる人材を採用・育成するとともに、SNS や YouTube などオープンな介護現場の働き方を若い世代に配信し関心を高め、友人紹介によるリファラル採用にもつなげる ・継続した賃上げなど現職員の処遇改善により働き甲斐のある職場とし、離職率の低下を目指す ・女性 8 割の高い比率の環境で様々なキャリアを提供すべく、管理職になる人事制度の充実や、育児中でも勤務できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境を充実させる ・特定技能人材の週 1 回の日本語学習支援、社内資格支援制度による介護福祉士取得支援、グローバル人材専門の通訳配置により、外国人人材が安心して長期就労・資格取得に専念できる職場環境を整備する ・障がい福祉サービス事業の運営で得た知見を自社の雇用に活かし、定着支援と職域の拡大を進める ・資格取得や外部研修への参加などを支援し、従業員のスキルアップを図る ・健康経営優良法人認定の取得を通じて、従業員の健康に配慮した健康経営を推進する
KPI	・2027/10 期に 100 名以上の採用を目指す (2025/10 期実績 : 54 名) ・2029/10 期までに従業員の離職率 10.0%以下を目指す (2025/10 期 : 18.0% 2024/10 期 : 36.0%) ・2028/10 期までに有給休暇取得率 75.0%以上を目指す (2025/10 期実績:71.0%) ・2028/10 期までに「えるぼし」認定を取得し、以降継続する ・2029/10 期までに女性管理職を追加で 5 名以上登用する (2026/8 月時点 : 8 名) ・2029/10 期までに外国人人材を 70 名以上採用する (2026/8 月時点 : 18 名)

	・2028/10 期までに障がい者を追加で 1 名以上採用する (2026/8 月時点 : 3 名) ・2029/10 期まで毎年、介護支援専門員および介護福祉士の資格合格者数の合計を 3 名以上で維持する (2026/8 月時点 : 取得者 3 名) ・2027/10 期中に健康経営優良法人認定を取得し、以後継続する ※各項、以降の目標は再設定する
--	--

4. モニタリング

(1) 株式会社しらゆりケアにおけるインパクトの管理体制

- 同社では、浜中社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を浜中社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通して実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。